

研究実施のお知らせ

2020年01月07日 ver.1.1

研究課題名

松江圏域のくも膜下出血についての後方視的研究

研究の対象となる方

2008年01月から2017年12月の間に、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学病院、鳥取大学病院でくも膜下出血と診断された方

研究の目的・意義

くも膜下出血の原因の9割は脳動脈瘤とされ、世界的に見ても、日本に多いとされてきました。しかし、ここ20年、日本ではくも膜下出血の地域研究が行われておらず、現状は不明です。そこで、松江圏域で発症したくも膜下出血症例について、詳細な調査を行い、人口10万人に対する発生頻度を算出し、以前の報告との変化を評価することにしました。治療の現状を知ることで、新たな課題を提案できる可能性があります。

研究の方法

この研究を行う各病院で、対象となる患者さんのカルテからイニシャル、年齢、患者特性、発症状況、入院時診断、治療法、脳血管攣縮や水頭症の発生、退院後生活状況、などについて、調査を行い、その情報を松江赤十字病院に郵送し、くも膜下出血の発生状況をまとめます。イニシャルは、治療の途中で転院された患者さんの情報の突き合わせを行うために用います。集めたデータは松江赤十字病院の外部から容易にアクセスできないコンピューターで保管します。研究結果は論文などで発表する予定ですが、このとき、イニシャルや個人が特定される情報を用いることはいたしません。

研究の期間

2020年5月29日～2022年12月31日

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

松江赤十字病院脳神経外科
参加研究機関

矢原快太

[研究機関]

[研究責任者]

松江赤十字病院脳神経外科

矢原快太

松江市立病院脳神経外科

阿武雄一

松江生協病院脳神経外科

美津島穰

島根大学医学部法医学

竹下治男

鳥取大学医学部脳神経外科

鳥橋孝一

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身・ご家族の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部法医学 竹下治男

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2158 FAX0853-20-2155